

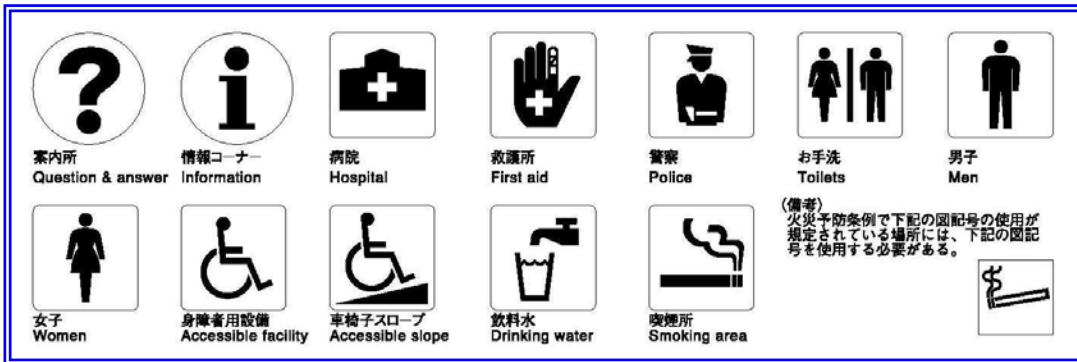
第7章 付 録

★ 【ピクトグラム】 ★ ※ はJIS化されていないもの

1. 公共・一般施設 Public Facilities

38項目

推奨度
A



推奨度
B



2. 交通施設 Transport Facilities

17項目

推奨度
B



第7章 付 録

★ 【ピクトグラム】 ★ ※ は J I S 化されていないもの

3. 商業施設 Commercial Facilities 10項目

推奨度 B








				
レストラン Restaurant	喫茶・軽食 Coffee shop	バー Bar	ガソリンスタンド Gasoline station	会計 Cashier 【注2】(通貨記号差し替え可)

推奨度 C












				
店舗 / 売店 Shop ※	新聞・雑誌 Newspapers, magazines ※	薬局 Pharmacy ※	理容 / 美容 Barber / Beauty salon ※	手荷物託配 Baggage delivery service ※

4. 観光・文化・スポーツ施設 Tourism,Culture,Sport Facilities 17項目

推奨度 B

						
展望地 / 景勝地 View point	陸上競技場 Athletic stadium	サッカー競技場 Football stadium	野球場 Baseball stadium	テニスコート Tennis court	海水浴場 / プール Swimming place	スキー場 Ski ground

推奨度 C

										
キャンプ場 Camp site	温泉 Hot spring	公園 Park	博物館 / 美術館 Museum ※	歴史的建造物 ※ Historical monument variant 1 ※	応用例 2 variant 2 ※	自然保護 ※ Nature reserve	スポーツ活動 ※ Sporting activities	スカッシュコート ※ Squash court	Tバーリフト ※ T bar lift	座掛け式リフト ※ Chairlift

5. 安全 Safety 5項目

				
消火器 Fire extinguisher	非常電話 Emergency telephone	非常ボタン Emergency call button	非常口 ※ Emergency exit	広域避難場所 Safety evacuation area

推奨度 A

7
付
録

7
付
録

第7章 付 録

★ 【ピクトグラム】 ★ ※ はJIS化されていないもの

6. 禁止 Prohibition

20項目

推奨度
A



推奨度
B



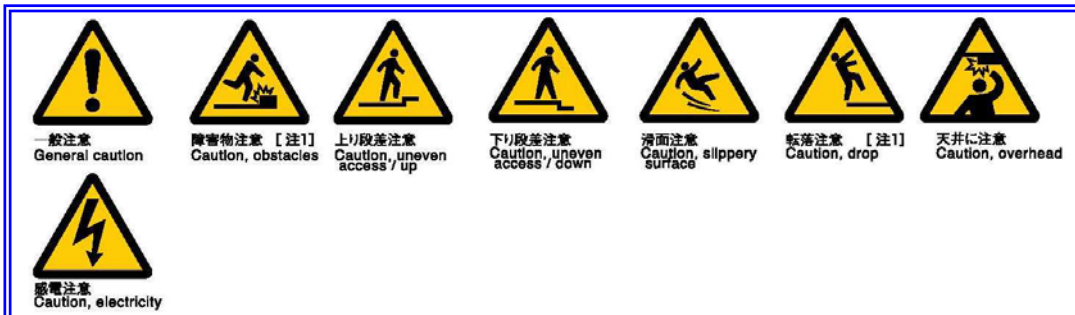
推奨度
C



7. 注意 Warning

8項目

推奨度
A



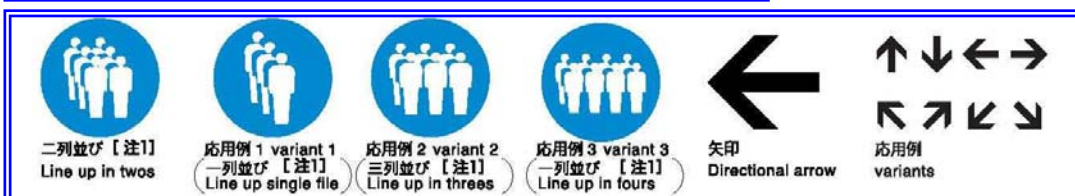
8. 指示 Mandatory

10項目

推奨度
A



推奨度
B



7
付
録

7
付
録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	チェック内容
サイン全体のあり方に関する基本的な考え方（サインシステム）		
建物アプローチ (玄関・出入口・周辺部など)	<input type="checkbox"/>	玄関まで建物利用者を誘導するサインがある
	<input type="checkbox"/>	建物利用者に建物へ到着したことを示すサインがある
情報拠点 (受付・各階ホールなど)	<input type="checkbox"/>	建物利用者が建物概要を把握できるサインがある
	<input type="checkbox"/>	受付まで建物利用者を誘導するサインがある
移動空間 (廊下、階段、エレベーターなど)	<input type="checkbox"/>	目的地まで建物利用者を誘導するサインがある
	<input type="checkbox"/>	建物利用者の安全な移動に必要な規制・説明サインがある
	<input type="checkbox"/>	非日常的における建物利用者の安全な避難誘導に必要なサインがある
目的空間 (窓口、諸室など)	<input type="checkbox"/>	建物利用者に目的地へ到着したことを示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	諸室における建物利用者の適切な利用に必要な規制・説明サインがある

UDチェックシート（※サイン全体のあり方について、計画する際に参考とするチェックシート）

●サインシステムとは

- 例えば、会議があるため、初めて建物を訪れる人の行動は以下のように想定されます。
 - ①建物名を示す案内サインなどを見つけて、目的の建物に到着したことを確認し、
 - ②玄関に入り、受付や建物案内図で会議室が何階のどの位置にあるかを確認し、
 - ③矢印などの誘導サインを頼りに階段や廊下を移動し、
 - ④扉の「会議室」と表示されたサインを確認して中に入る。
- このように、会議室に行くためには、①～④の一連の行動ができるように、建物サインを連続的に配置することが必要です。つまり、建物サインが、建物利用者の一連の行動を導くサインシステムとして機能していることが大変重要となります。
- サインシステムを考えずに、個別の建物サインだけの設置、改善に力を入れると、結果的に、重要性や緊急性が低い建物サインが多く整備される事態を招く恐れもあります。
- そこで、サインシステムを検討するにあたり、建物内を4つの空間に分けると、「どこで」、「どのような」建物サインが必要となるかについて考えやすくなります。

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

●建物内の4つの空間と主な留意点

- 「どこで」「どのような」建物サインが必要かという視点で建物内の各空間を捉えなおすと、「建物アプローチ」「情報拠点」「移動空間」「目的空間」の4つの空間に分けることができます。
- 各空間に必要な具体的な建物サインについては「UDサインに関するチェックシート（サイン全体のあり方に関する具体的な考え方、P61～）」を参照してください。

(1) 建物アプローチ（玄関・出入口など）

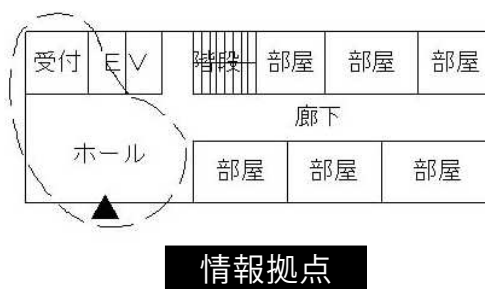
■ 4つの空間のイメージ図

- 目的の建物への誘導と到着に係る情報を伝える空間です。
- 営業時間や出入口の方位などを考慮し建物サインが機能する明るさの確保も必要です。



(2) 情報拠点（受付・各階ホールなど）

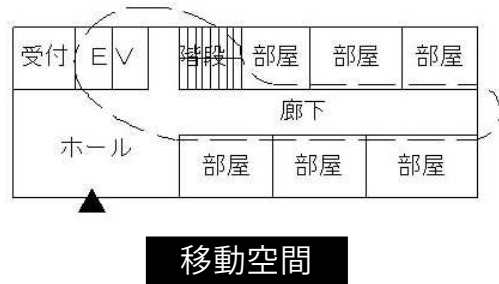
- 建物概要に係る情報を伝える空間です。
- 建物案内図を設置し、現在地と目的地の位置関係のほか、建物の利用特性に応じて、必要となる情報を提供します。また、音声・音響案内や触知案内図など複数の情報伝達方法での案内が必要です。
- 受付がある場合は、受付までスムーズに誘導します。
- 建物に係る各種情報を知る拠点として、建物サインに限らず、多言語表記や触知案内図パンフレットの用意、係員による案内など、ソフトの充実も必要です。



★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

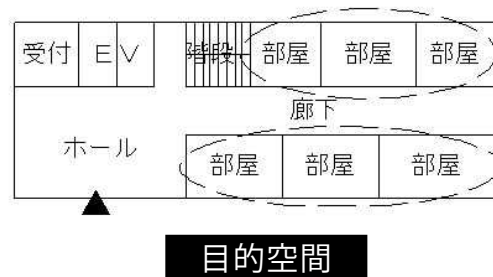
(3) 移動空間（廊下、階段、エレベーターなど）

- 目的空間までの移動経路に係る情報を伝える空間です。
- 目的地が複数ある場合は、各階ホールなどに各階案内図を設置することも必要です。



(4) 目的空間（窓口、諸室など）

- 目的空間への到達や諸室などの利用方法に係る情報を伝える空間です。
- 移動経路からわかりやすい位置などに到達を示す建物サインを設置します。特に、トイレなどの公共性の高い施設については、さまざまな建物利用者が利用しやすいように必要な情報内容の提供や複数の情報伝達方法による案内が求められます。



第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容
サイン全体のあり方に関する具体的な考え方（サインシステム）		
建物 アプローチ	<input type="checkbox"/>	駐車場進入口から身障者用駐車場スペースまでの経路を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	道路・歩道から敷地入口まで連続してサインがある
	<input type="checkbox"/>	敷地入口から玄関までの主な移動経路に視覚障害者誘導用ブロックがある
	<input type="checkbox"/>	建物名称を示すサインがある
情報拠点		
玄関周辺	<input type="checkbox"/>	玄関への到着を示すサインがある 例) 誘導チャイム など
	<input type="checkbox"/>	建物案内図がある
	<input type="checkbox"/>	建物案内図の設置場所を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	複数の情報伝達方式で示された建物案内図がある 例) 触知案内図、音声案内・誘導 など
	<input type="checkbox"/>	建物案内図に建物利用者に必要な情報がある 例) 現在地、トイレ・電話機・自販機・水飲器などの位置 など
	<input type="checkbox"/>	受付まで視覚障害者誘導用ブロックや手すりがある
受付	<input type="checkbox"/>	受付の位置及び提供できる情報を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	建物の利用案内がある 例) 多言語表記・触知案内図パンフレット、障害者用の非常時マップ、筆談や手話対応表示 など
各階ホール	<input type="checkbox"/>	各階案内図がある
	<input type="checkbox"/>	各階案内図の設置場所を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	複数の情報伝達方式で示された各階案内図がある 例) 触知案内図、音声案内・誘導 など
	<input type="checkbox"/>	各階案内図に建物利用者に必要な情報がある 例) 現在地、トイレ・電話機・自販機・水飲器などの位置 など

UDチェックシート（※サイン全体のあり方について、計画する際に参考とするチェックシート）

第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容
サイン全体のあり方に関する具体的な考え方（サインシステム）		
移動空間		
廊下	<input type="checkbox"/>	主な移動経路に諸室などへの経路を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	主な移動経路や要所に視覚障害者誘導用ブロックや手すりがある 例) 主な要所：エレベーター前、トイレ出入口、諸室出入口、廊下交差点、曲がり角 など
	<input type="checkbox"/>	手すりに主な要所を示す点字サインがある
	<input type="checkbox"/>	複数の情報伝達方式で示された避難口や避難口への経路を示すサインがある
階段	<input type="checkbox"/>	各階の踊り場やその周辺に階数を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	階段の主な要所の手すりに、現在位置の階数及び階段の段数などを示す点字サインがある 例) 主な要所：階段の始点や終点 など 例) サイン：点字、立体絵記号、墨字 など
	<input type="checkbox"/>	階段の段差や踊り場があることを示すサインがある 例) 踏面の鼻先を示す標識、床材質や色調の変化 など
エレベーター	<input type="checkbox"/>	車いす専用、優先などを示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	到着階、昇降方向、到着階の主な施設名称などを示すサインがある 例) 施設名の音声案内 など
目的空間		
窓口	<input type="checkbox"/>	窓口を示すサインがある
	<input type="checkbox"/>	窓口の利用案内がある 例) 多言語表記・触知案内図パンフレット、障害者用の非常時マップ、筆談や手話対応表示 など
	<input type="checkbox"/>	窓口が複数の場合、利用目的の窓口がわかるサインがある 例) 図記号表示、音声案内・誘導、電光掲示板による呼び出し など
トイレ	<input type="checkbox"/>	トイレの種類や機能を示すサインがある 例) 男女別、身障者用トイレ、ベビーベッド、ベビーチェア、オストメイト など
	<input type="checkbox"/>	トイレの使用方法を示す外国語の説明書きや絵によるサインがある
	<input type="checkbox"/>	便房の位置関係や内部の状況がわかるサインがある 例) 触知案内図、音声案内・誘導 など
電話機 自動販売機 水飲器	<input type="checkbox"/>	設置場所を示すサインがある

UDチェックシート（※サイン全体のあり方について、計画する際に参考とするチェックシート）

第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容	本ガイド
個別のサインに関する考え方（第4章を参照）			
目で見えるサインに関すること			
設置位置	<input type="checkbox"/>	位置サインについて、弱視者に配慮して視点の高さにもサインを設置するようになっているか	P21
	<input type="checkbox"/>	照明の映り込みや、外光により見えにくくならないように、設置位置や角度に配慮しているか	P21
	<input type="checkbox"/>	低い目線（車いす使用者や子どもなど）が見上げる際の角度に配慮しているか	P21
表示の読みやすさ	<input type="checkbox"/>	明度差は5程度以上とし、彩度差にも配慮しているか	P22
	<input type="checkbox"/>	文字の大きさは、視力の低下した高齢者などに配慮して、視距離に応じた大きさを選択しているか	P22
	<input type="checkbox"/>	弱視者に配慮して、大きな文字を用いたサインや図記号を視点の高さに表示することができるか	P22
	<input type="checkbox"/>	書体は視認性の優れた角ゴシック体で表現できているか	P22
存在の強調	<input type="checkbox"/>	図記号（ピクトグラム）はJIS Z 8210に表示された図記号を基本的に用いているか	P22
	<input type="checkbox"/>	書体や色使いに注意して、全体のなかで統一感を持たせているか	P25
	<input type="checkbox"/>	サインを設置する場所の背景や周辺にある物に注意し、サインを目立たせているか	P25
明るさ	<input type="checkbox"/>	頻繁に使用する施設のサインは、大きな色面を使うなど、強調させることができるか	P25
	<input type="checkbox"/>	周囲が暗くなる場所では、照明を設けるか、内照式のサインを設置しているか	P25
	<input type="checkbox"/>	ガラスや金属板を使用するときは、透過や反射を十分に検討し、つや消しや地色を付けるなどの検討を行っているか	P25

UDチェックシート（※個別のサインについて、設置や見直しを計画する際に参考とするチェックシート）（第4章を参照）

第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容	本ガイド
個別のサインに関する考え方（第4章を参照）			
音声で知らせるサインに関すること			
方法と内容	<input type="checkbox"/>	情報を音声により提供することが効果的な場所では、適切な位置に適切な方法で誘導装置を設けることができるか	P29
	<input type="checkbox"/>	案内については、対面して、操作利用者に対して分かりやすい言葉で、簡単明瞭に目的地の方向や位置を指示しているか	P29
点字・触知案内図で知らせるサインに関すること			
点字の表記とレイアウトなど	<input type="checkbox"/>	表記方法、設置方法、形状などについて、規格があるものは、これを採用・参考としたか	P32
	<input type="checkbox"/>	墨字を併記しているか	P32
	<input type="checkbox"/>	触知しやすく、触感や指の滑りがよく、耐久性のある材料、仕上げとなっているか	P32
	<input type="checkbox"/>	触知しやすい高さ、角度に設置しているか	P32
	<input type="checkbox"/>	階段手すりに、現在階の階数とフロア情報などを表示しているか	P32
	<input type="checkbox"/>	スイッチの横にその種類を表示することができるか	P32
	<input type="checkbox"/>	点字触知の妨げとならない固定方法となっているか	P32
	<input type="checkbox"/>	点字を計画・設置する前に、点字などが分かる視覚障害者によるチェックを行っているか	P32
触知案内図の表現方法・触感など	<input type="checkbox"/>	表記方法、設置方法、形状などについて、規格があるものは、これを採用・参考としたか	P34
	<input type="checkbox"/>	墨字を併記しているか	P34
	<input type="checkbox"/>	触知しやすく、触感や指の滑りがよく、耐久性のある材料、仕上げとなっているか	P34
	<input type="checkbox"/>	高齢者、視覚障害者、健常者すべてに見えやすい配色となっているか	P34
	<input type="checkbox"/>	数字による情報などについては、浮き出し文字（一般の数字の形を浮き出しにして触察できるようにしたもの）をあわせて表示しているか	P34
	<input type="checkbox"/>	視覚障害者誘導用ブロックなどによる誘導もあわせて検討することができるか	P34

UDチェックシート（※個別のサインについて、設置や見直しを計画する際に参考とするチェックシート）（第4章を参照）

第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容	本ガイド
個別のサインに関する考え方 (第4章を参照)			
視覚障害者誘導用ブロックで知らせるサインに関すること			
形状・材質・素材	<input type="checkbox"/>	視覚障害者誘導用ブロックなどの形状はJIS規格によるものとなっているか	P37
	<input type="checkbox"/>	歩行方向を誘導するため線状ブロックなどを、危険、方向転換、停止などを注意喚起するため点状ブロックなどを的確に使用しているか	P37
	<input type="checkbox"/>	材質は、設置場所、周囲の床材料との対比を考慮し、視覚障害者が触知しやすいものとするとともに、適切な耐久性を確保する、滑りにくいものとするなど、配慮したものとなっているか	P37
	<input type="checkbox"/>	視覚障害者誘導用ブロックの色は、弱視の人の判別に配慮し、黄色を原則とし、また、周囲の床仕上げ材との明度差、輝度比にも配慮したものであるか	P37
	<input type="checkbox"/>	廊下など、床仕上げの感触の違いを利用した誘導を考慮することができるか	P37
設置方法	<input type="checkbox"/>	触知性、視認性を確保するとともに、車いすなどの支障とならないよう、十分かつ適切な設置幅となっているか	P37
	<input type="checkbox"/>	敷地出入口から受付などまで適切に誘導できるようになっているか	P37
	<input type="checkbox"/>	必要に応じ、エレベーターの呼び出しボタン、室の出入口の前などへの点状ブロックなどの設置ができているか	P37
	<input type="checkbox"/>	階段の上下端、スロープの上端に近接する通路、踊場の部分に点状ブロックなどを設置しているか	P37
	<input type="checkbox"/>	過剰な設置はせず、明確な経路となるよう基本となる動線上に設置しているか	P37
	<input type="checkbox"/>	視覚障害者誘導用ブロックは、警告や注意喚起などの対象となる部分から30cm程度離れた位置に設置しているか	P37
	<input type="checkbox"/>	原則として湾曲しないように直線的に設置し、曲がる部分は直角に設置しているか	P37
その他の必要なサインに関すること			
非常時の設備	<input type="checkbox"/>	非常時にすべての人に情報を素早く伝達する設備を設置することができるか	P38
	<input type="checkbox"/>	目や耳の不自由な人に配慮し、スピーカーや発光点滅装置を併設した避難誘導灯などを、天井面、床面や腰の高さなどにも設置することができるか	P38

UDチェックシート (※個別のサインについて、設置や見直しを計画する際に参考とするチェックシート) (第4章を参照)

第7章 付 録

★ 【UDサインに関するチェックシート】 ★

項 目	チェック	具体的なチェック内容
サインの維持管理・運用に関する考え方		
維持管理	<input type="checkbox"/>	サインの劣化・破損などの機能低下を早期発見するため、施設管理者による定期的な点検を行う
	<input type="checkbox"/>	サインの設置・改善の検討時には、可能な限り建物利用者や施設管理者などの参加を図る
	<input type="checkbox"/>	簡易に使えるサインの活用を適宜検討する
運用	<input type="checkbox"/>	サインの見やすさや触りやすさを妨げないように、家具や立て看板などを配置する
	<input type="checkbox"/>	サインの見やすさや触りやすさを妨げないように、掲示物の配置を工夫する
	<input type="checkbox"/>	不必要な情報、古くなった情報、更新が必要な情報を含む掲示物などを整理する

UDチェックシート（※サインの維持管理・運用の際に参考とするチェックシート）

★ 【謝辞・参考文献】 ★

【謝 辞】

本ガイドの作成にあたり、貴重な資料、ご助言をいただいた佐賀県障害者社会参加推進センターの松尾 榮 氏、佐賀県視覚障害者団体連合会の竹田 寿和氏、佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センターの松尾 清美氏、佐賀ライトハウス六星館の森 幸久氏、お世話宅配便の井手 将文氏、アトリエ彩・暮・楽の山口 弘美氏、ピーブレインの藤尾 任且氏、アンケートにお答えいただいた方々に深く感謝いたします。

【参考文献】

- [1] 樗木 武
「ユニバーサルデザインのまちづくり・みんなに優しいまちを目指し」
森北出版株式会社 2004
- [2] 田中 直人・川崎 和男・外山 義・エドワード・スタンフェルド
「ユニバーサルデザインの考え方・建築・都市・プロダクトデザイン」
丸善株式会社 2002
- [3] 田中 直人・岩田 三千子
「サイン環境のユニバーサルデザイン・計画・設計のための108の視点」
学芸出版社 1999
- [4] 交通エコロジー・モビリティ財団標準案内用図記号研究会
「ひと目でわかるシンボルサイン 標準案内用図記号ガイドブック」
株式会社大成出版社
- [5] 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び同解説」
社団法人公共建築協会 2006

第7章 付 録

★ 【基準・指針類など】 ★

【基準・指針類など】

- [1] 「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」
(国営整第157号・国営設第163号/H18.3.31)
- [2] 「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」
(交通エコロジー・モビリティ財団/H13.8)
- [3] 「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」
(国土交通省/H19.7)
- [4] 「視覚障害者の安全で円滑な行動を支援するための点字表示等に関するガイドライン」
(社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会/H14.5)
- [5] 「日本点字表記法」 日本点字委員会
- [6] 「わかりやすい案内・誘導サイン等の手引き」
大分県保健福祉部 2007
- [7] 「既存建築物の視覚情報サイン改善マニュアル」
熊本県総合政策局 2005
- [8] 「福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル」
兵庫県健康生活部 2005
- [9] 「建物サインづくりマニュアル」
練馬区環境まちづくり事業本部 2006
- [10] 「福祉都市環境整備指針」
名古屋市健康福祉局 2003
- [11] 「見やすく分かりやすい案内表示」 埼玉県総合政策部
- [12] 「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」
福島県土木部 2005
- [13] 「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」
東京都財務局 2007

【インターネット】

[1] 「新県庁舎のユニバーサルデザイン」

<http://www.irii.go.jp/>

[2] 「共用品推進機構」

<http://www.kyoyohin.org/>

【関連規格】

[1] (JIS T 0922:2007) 高齢者・障害者配慮設計指針

－触知案内図の情報内容及び形状並びにその表示方法－

[2] (JIS T 0921:2006) 高齢者・障害者配慮設計指針

－点字の表示原則及び点字表示方法－ 公共施設・設備

[3] (JIS T 9251:2001) 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列

[4] (JIS T 0901:2005) 視覚障害者の歩行・移動のための音声案内による支援システム指針

[5] (JIS S 0032:2003) 高齢者・障害者配慮設計指針

－視覚表示物－日本語文字の最小可読文字サイズ推定方法

[6] (JIS S 0033:2006) 高齢者・障害者配慮設計指針

－視覚表示物－年齢を考慮した基本色領域に基づく色の組合せ方法

[7] (JIS Z 8210:2007) 案内用図記号

より多くの人理解し、安全で安心して使えるサインを目指して

施設におけるわかりやすい

ユニバーサルデザインのサイン

発行 佐賀県 県土づくり本部 建築住宅課

電話 (0952) 25-7166 FAX (0952) 25-7316

Email: kenchikujuutaku@pref.saga.lg.jp

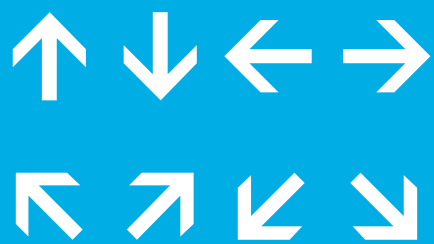
佐賀県 経営支援本部 総務法制課

電話 (0952) 25-7018 FAX (0952) 25-7260

Email: soumuhousei@pref.saga.lg.jp

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59

平成20年3月発行



Universal Design Sign